

死亡現認(遺體)證明書

昭和二十年八月九日

遺体の状況		死亡の状況					住所		氏名	
遺品の 留品	遺体の 処理	死亡区分	発病時	傷病名	死亡場所	死亡日時	本籍地	現住所	姓	名
関係の人物		<p>(状況の時當亡死)</p> <p>病勢悪化衰弱甚しく 遂に死亡する。</p>								
病院 看護婦		<p>錦州 陸軍病院 長助</p>								

寫

謹啓

不昧ながら、[redacted]君の御訃に關しまして一筆致します。小生終戦前には同じ部隊に居りまして今の度蘇聯より復員して帰って来たもので御座います。突然の通報で甚だ驚かれます。御訃は對り戦に於て昭和二十一年八月八日滿洲は金廠溝と云ふ所で戦死した模様であります。元來存望で帰って来られるの迄永の年月まで御待ちになつておられたことでありませう誠に御同情に堪へません。御通報申し上げるのも心苦しく多数の戦死者を出しました小生と致しましても本當に御挨拶の申上げ柄も御座いません。当時の状況を申しますと大要次の通りで御座います。

部隊名は滿洲第十一航空情報隊（オ一六六六ニ部隊）当時滿洲に在りましたオニ航空軍の隷下であります。部隊の任務はソ連の航空状況を觀察し又は局部的地方の気象を觀測し又日本の方に報告するの主任としてありました。

23-15

2082

君は該部隊の第一中隊第一情報班第一分隊の一員としておらず六名
でもって金廠溝と云ふ小国境線に於て独立勤務をしておられました。
当時金廠溝には地上部隊はわづかに三〇名足らずの君の分隊六名
が共に国境線と接ぎ備監視をしておりました。

八月八日零時零分を期して敵の対日攻勢特に飛行機による越境が
開始せられました。君の分隊も早速に敵の第一直を補佐せられ
情報電報の第一報を当時八面通におりました第一情報班長の
私の所に通報せられました。その後地上部隊の攻勢をうけられ包圍
せられた林子であります。同日十六時頃全々無線も不通となり叫
出しを盛んにやりました。が応答なく遂に消息を絶ったのであります。
その後いろいろ手段を盡し分隊の消息を尋ねたのであります。が
勿論、金廠溝よりの生還者は一名もなく玉碎せられたんぢやない
かと想像せられます。

君の分隊は当時としては全々の殊勲で停戦前日即ち十四日時

のオニ航空軍司令官 [redacted] 閣下より朕隊に付して特に各
分隊は敵中にありて任務の完遂云々と賞詞を戴き緊急報込にて
全滿に達せられた程であった。当時としては全く頭の下る立派な働き
ぶりであった。えも停戦になり [redacted] 君達の御活躍に対し何等報中
る事も出来ませず直接の長としての私は勿論御両親林初め御親類
御一同林の御無念如何ばかりかと想ふだに残念で御座います。全く優
秀な人ととくしたるは任務とは申せ誠に申訳がなく思っております
何分何百封を離れた所に居て唯無線機のみを唯一の連絡手段として
ありましたものです。から戦死の様林など詳しく申上げる事も出来ませず
亦遺骨遺品等の搜索手段もありません。はつきりとした御報告
を申し上げざるの出来ませぬの事何卒御許し下さい。尚御向かいして御
報告申し上げるのが至当とは存じますが何分遠方ですとて参上も容
易ならず御諒承下さい。

先はとり急む御一報迄

敬具

御親林

23-17

2084

戰時死亡現認證明書

頒製年月日 昭和三年一月廿日
現認者所屬 滿洲第八五二部隊
舊氏名印 陸軍長

區分

記

事

本籍地

所屬部隊

現認者所屬 滿洲年徵集第八五二部隊

役種 徵集年

官等級(身分)總月給額氏名

陸軍 現役 兵長 以永十九年 徵集

生年 月 日

留守擔當者 住所

姓 氏 名

女

死

年月日時及區分 昭和二十一年八月十日 時 命 戰死

場所 滿洲海林

備註 姓名 陸軍長

戦地到着

昭和十九年八月十日 (圓領録)

勤 務 機 関

昭和二十年六月廿一日 新東一古六四部隊(教育隊)ニシテ
戦地通信ノ教育ヲ受ケ、原隊ニ戦地(寧ろ)ニシテ、初年其教育
及ハ戦地通信ニ進ムベシ。

交 通

年月日 所 昭和三十九年八月十日 時 分

備 傷 (乘) 名

滿洲海林 壓棘

受 傷 (罹 病) 状 況

列車が急停車シタル處一貨車ト車体カ押シマフサレシニ
換マレタル中。

戦 死 (罹 病) 状 況

暗夜列車ニテ移動中ノコトヲ察スルニ一猪ナリシニ、死体モ
判然セザリシモ、人算其時ニヨリ戦死確カトシテ、

9-15

死亡現認(確認)證明書

昭和26年7月5日
 * (複製官署)
 * (複製月日)

資料提供者		死者の資料							無有の籍		
死亡と知つた方法		遺留品	及遺骸の處理	元諸亡死					現留守住當所者	本籍地	縣部屬所 町區有國
				死亡區分	發病時	傷病名	死亡場所	死亡日時			
平壤南下の爲残置遺棄 であつて新京取出る時死 したと聞いた			戦病死		肺病	新京二陸病	昭和二十年八月十三日	内	縣府 蕙都	戦車二師防空隊	
本人との關係		同一病院の婦長									
現住所	縣部屬所	* 甲 * 甲 * 甲 * 甲 * 甲									
		(死當時の状況)							(後)級官(前)		
									* 見士		
官名	氏名								名 氏		
									名 氏		
									年 月 日 生		
									親柄 (父)		

2087

戦死證明書

年 月 日生

君は興安西省阿魯科爾沁旗勸業科畜産関係に
参事官を隊長とする南東軍の命に依り、連軍後方攪
乱遊撃部隊に従事し、日ソ交戦を報じ受くるや、隊長以
下之が目的遂行を為山中に寄り、ソ連軍南下を報
ありたるも日本軍の部隊全然不明を為中途より遊撃部隊に
合流すべく出動中崑都西北方陣地付近におりて生死不明となる
(昭20.9.13)阿魯旗遊撃部隊最初生死不明者なることを証明
す。

尚阿魯科爾沁旗 隊長以下全員爾後又戦に於て
戦死、警察官より阜新に脱出他日系全員戦死す

右

君の戦死確実なることを証明す

昭和四十年一月七日



死亡事實員覽認証明書昭和三年十一月

可長	通稱	姓名	階級	職名	氏名
本籍	籍地	現住地	職業	職名	氏名
死亡年月日	昭和三年八月十三日				
死亡場所	東京市神田区				
死亡原因	十餘日之感冒致創(肺炎)				

参考資料 (不要の分は消して下さい)

一 死亡無知の事
 一 有(名)用(通) (姓名) (職名) (階級) (職名) (職名)
 一 死亡原因 (感冒) (肺炎) (肺炎) (肺炎) (肺炎)
 不明

一 遺言 (遺言) (遺言) (遺言) (遺言) (遺言)
 不明

一 死亡原因 (感冒) (肺炎) (肺炎) (肺炎) (肺炎)
 不明

一 遺言 (遺言) (遺言) (遺言) (遺言) (遺言)
 不明

遺言	遺言	遺言	遺言	遺言	遺言
遺言	遺言	遺言	遺言	遺言	遺言

197

死 亡 境 況 (確 認) 証 明 書

裏面記載上の注意を見て書いて下さい ※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に聞いて下さい

資 料 提 供 者 死 亡 者 の 資 料	現 住 所	本 籍 地	所 属 部 隊	固 定 通 有 部 隊	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 刻	死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料
	分 区	内 縣 府	通 有 部 隊	通 有 部 隊	※	※	予 尉	予 尉	死 亡 時 刻	死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料
死 亡 日 時	死 亡 日 時	死 亡 日 時	死 亡 日 時	死 亡 日 時	死 亡 日 時	死 亡 日 時	死 亡 日 時	死 亡 日 時	死 亡 日 時	死 亡 日 時	死 亡 日 時
死 亡 場 所	死 亡 場 所	死 亡 場 所	死 亡 場 所	死 亡 場 所	死 亡 場 所	死 亡 場 所	死 亡 場 所	死 亡 場 所	死 亡 場 所	死 亡 場 所	死 亡 場 所
傷 病 名	傷 病 名	傷 病 名	傷 病 名	傷 病 名	傷 病 名	傷 病 名	傷 病 名	傷 病 名	傷 病 名	傷 病 名	傷 病 名
猪 病 時	猪 病 時	猪 病 時	猪 病 時	猪 病 時	猪 病 時	猪 病 時	猪 病 時	猪 病 時	猪 病 時	猪 病 時	猪 病 時
死 亡 区 分	死 亡 区 分	死 亡 区 分	死 亡 区 分	死 亡 区 分	死 亡 区 分	死 亡 区 分	死 亡 区 分	死 亡 区 分	死 亡 区 分	死 亡 区 分	死 亡 区 分
遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理
遺 留 品 の 処 理	遺 留 品 の 処 理	遺 留 品 の 処 理	遺 留 品 の 処 理	遺 留 品 の 処 理	遺 留 品 の 処 理	遺 留 品 の 処 理	遺 留 品 の 処 理	遺 留 品 の 処 理	遺 留 品 の 処 理	遺 留 品 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料	死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料

資 料 提 供 者
死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料

死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料

死 亡 者 の 死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料

死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料
 本 名 は 本 姓 名 花 行 隊 に 少 尉 同 級 予 尉 等 と 共 に 昭 和 大 運 用 水 子 隊 隊 員 (花 行 隊) に 転 属 対 潜 隊 隊 員 に 従 事 中 昭 和 20 年 9 月 東 部 自 衛 隊 東 部 自 衛 隊 第 1 中 隊 に 於 いて 戦 死 した 事 実 が 確 定 され 追 悼 状 書 等 が 送 付 され 追 悼 状 書 等 が 送 付 され 追 悼 状 書 等 が 送 付 され

136-157

昭和 〇〇 年 10 月 〇〇 日
 留守業務部第五課
 号
 先知通

宛	山経	務	輸	務
〔不明〕	以田部 木四課	留守業務部第五課	号	昭和 〇〇 年 10 月 〇〇 日
〔不明〕	〔不明〕	校	先知通	

(意注の上載記)

一、本証明書は、未掃還者の死亡の処理を行う場合の基本となる證據書類でありますから特に正確に書いて下さい。従つて、記憶が不確実なる箇所には、を付けてその旨を明かにして下さい。

二、死亡を知つた方法の欄には、自から現認した(見た)死水をとつた、臨終に立会つた、屍衛兵に立つた、慰靈祭又は葬儀に立会つた、誰々から聞いた、死亡したことを命令等で見た等死亡事実を知つた方法を具体的に書いて下さい。

三、死亡当時の、状況はなるべく詳細に記入して下さい。又参考資料として「貴方の外に本人の死亡事実を知つてゐる人があればその人の氏名、所属部隊、本籍地等」「死亡者の特徴(容貌、体格、特長、前職等)」「死亡者が軍属の場合は、その官等俸給(日給)、採用年月日等」その他死亡者について御承知になつてゐることは附記して下さい。

四、資料提供者の記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は補備した場合、「」を附して記入し、資料提供者の記入したもを明瞭にすること。

見所署公官任担査調 緯経手入

資料区分 旧 生見 ↓ 新

一、死亡資料提供者... (不明) ... 調査官が訂正又は補備した場合、「」を附して記入し、資料提供者の記入したもを明瞭にすること。

二、死亡を知つた方法... (不明) ...

三、死亡当時の状況... (不明) ...

四、資料提供者の記入... (不明) ...

136-16

死亡現認(確認)證明書

◎裏面記載上の注意を見て書いて下さい。

資 料 提 供 者	死 亡 者 の 資 料								
法方たつ知と亡死 臨終に立合った	遺留品 内地發達の目的にて取まとめるも終戦にて不明	及遺骸の處理 火葬	元 諸 亡 死				現留守擔當者 縣府 道 郷	本籍地 [Redacted]	
			死亡區分	發病時	傷病名	死亡場所			死亡日時
			以病死	不明 20.2.28奉天陸軍より転送	肺結核兼腸結核	錦州陸軍病院拉之七分院	昭和二十年一月十五日二十時	[Redacted]	
係關のト人本		錦州陸軍病院 婦長勸務 転送時看護 す						無有の届 陸部 屬所 稱 通 有 固 比支第55団無 屬所部細 (召應地現)區役 部 兵 通 (後)級等官(前) 上 名 氏 [Redacted] 年 月 日生 [Redacted]	
除部屬所 所住現		滿洲 [Redacted]		一五五三六部隊 實 日赤救護看護婦 [Redacted]		記 名氏者當擔守留 續柄 ()		兵 官 (前) 上 名 氏 [Redacted]	
				(死 時 當 亡 死) の 状 況 病院移動直前の極めて混雑 たる情勢下 [Redacted] 氏は約十日程 前より病状最悪にて肉を食 べず、状態にあり看護婦一名死 交代にて病頭に付きまきり、 看護もしも食慾全くなく一同 の看護の甲斐もなく死亡せる					

※ (調製月日) 昭和 26 年 9 月 26 日
 ※ (調製官署) 留守業務部